モウガケ沢山行報告

［日時］　　2016 年 10 月 1 日㈯
［天候］　　曇りのち晴れ
［参加者］　　ＣＬ上茂、ＳＬ平野直、平野良、加藤、小原、高梨、鶴田、澤田淳（記録）
［山行タイム］６：５５駐車スペース出発～８：２５　495m地点入渓～９；５０　１００ｍ側壁～１１：４４　２５ｍ大滝～１１：５８　幻の滝～１３：２０
３対１地点～林道 15：５０～駐車スペース着１８：２０

9 月 30 日㈮20 時 20 分千葉発 12：10 道の駅金山着。仮眠。
10 月 1 日㈯道の駅金山 6：10 出発。橋の工事中で、御神楽岳登山口の工事現場の脇に駐車スペースを確保して、1 時間半林道歩き。495m地点より入渓する。曇っているが、少しづつ天気回復していくのにホッとする。すぐに大きい二股を左に入る。きれいな青や緑の石が目立つ。滑らない石で歩きやすい。
平野直子さんが、あっという間にナラタケやキクラゲを見つける。今回は、キノコ採り山行でもあるのだが、平野さんしかキノコの識別ができず、私たちは、きのこを見つけては、食べられるか聞いている有様である。ミズの実なら覚えたので、高巻きの折など私も見つけては、膝あての中に押し込みながら登る。１０ｍ滝を左に巻き、きれいなナメ床が続き青空が見えてくると、日差しが、沢にも入ってきてキラキラと美しい。右に立派な１００ｍ側壁が現れ１０ｍ滝を右に巻き込み１４ｍ懸垂で降りる。平野さんは、今度はヌメリツバダケをゲットしていた。６３０ｍ地点の１対２分岐の先のトイ状の小滝の左の岩を登っていると、ちょっと滑っていやらしい感じ。鶴田さんが私の前だったので、偉そうに応援していたらバチが当たったのか私が滑り、ウオータースライダーして釜にボチャン！すごい叫び声だったらしいが、ちょっと楽しかった。２５ｍ大滝を巻き左の二股の支流をいくとちょうど１２時にまぼろしの滝に遭遇。幅広の草付きの５０ｍ滝だ。水量が多いと現れるので、その名がついているらしい。見上げると２段だけに見え、草もついていることだしとスラブ状のナメ滝をそれこそなめて登っていくと２段の先にまだまだスラブ状ナメがつづいており、けっこうツルツル滑って気がやすまらない。思わず「まだあるのー？」と前の高梨さんに聞くと「長いねー！」さすがの高梨さんも苦笑い。歩きはじめは、きれいなナメに喜んでいたのに「ナメは、もういいよー！満足したよー！」などど文句を言っている私は、まったく勝手である。、この先も幅が細くなりながらもナメ床は、まだまだ続いた。予定していた枝沢を下降する気力は、全員なく、駐車スペースまで、林道歩きとなったので、靴を履き替える。林道まで１時間２５分のやぶ漕ぎだったが、きれいなブナ林をキノコ採りしながらだったので、それ程苦ではなかった。むしろそこから２時間半の日が落ちる前に着きたい一心の超速足の林道歩きがきつかった。その晩は温泉にゆっくりつかり、美味しいキノコ料理とミズの実のお浸し等で、宴会となる。翌朝ゆっくり朝ごは

んを食べて、キノコと山栗を沢山採って,帰葉。

まぼろしの大滝

上部のナメ

ナメコと鬼